日本離床学会

整形 脳神経 呼吸 循環

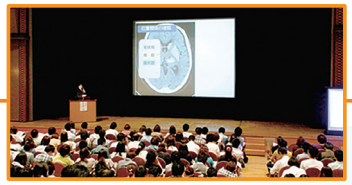
講座コード:R-28

HP

リハビリ・看護ケアに活かす 臨床画像判読講座

読まず嫌いで患者を危険な目にあわせないために

日　時：2020年 4月11日(土) 10:00～16:10
場　所：インターネットライヴ特別講演(日本離床学会 九段スタジオより生中継)
講　師：飯田 祥 先生(日本離床研究会 学術研究部)
対　象：看護師・PT・OT・ST(左記以外でも受講可) ※定員になり次第締切り
受講料：一般 12,800円(税込)　会員 9,800円(税込)



「画像を確認しておけば良かった･･･」後悔する前に学ぶべき画像判読のポイントとは？

各領域で技術の発達が目覚ましい画像診断の世界。レントゲン、CT、MRI、エコー、血管撮影・・・これらの情報が離床・ケアのリスク管理や予後予測、効果判定に役立つことはわかっていても、全ての読影法をマスターするのは至難の業。本講座では、整形・脳神経・呼吸・循環各疾患の画像所見判読に必要な情報を、ベテランがポイントを絞って解説します。基本的な読影法に加え、レントゲンとCT、レントゲンとエコーなど複数の所見を併せて解釈する方法を学べば、読まず嫌いを解消できること間違いなし！ さあ、あなたもこの講座を受講して「画像を診て危険を察知できる」セラピストを目指してみませんか？

離床のリスク管理から予後予測まで

各疾患の画像判読ポイントを網羅する集中プログラム

PROGRAM 1 まずはおさえよう！ 画像読影の基礎

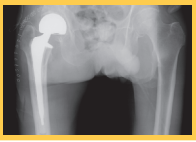
臨床に活かす画像情報は異常所見を丸暗記しても意味がありません。まずは基本的な画像の特徴と正常画像の診るべきポイントをおさえます。
●単純X線，CT，MRI，超音波それぞれの特徴と基礎知識　●異常の前に正常を理解する正常画像ポイント集　ほか

PROGRAM 2 各診療科別画像読影のポイント

スタッフは多くの診療科の知識が求められます。ここではよく遭遇する各診療科の画像所見を提示し、判読のポイントからリスク管理のコツを解説します。

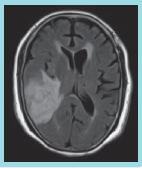
整形

●大腿骨頚部・転子部骨折後 離床時に痛みが強いときに見るべきレントゲン所見
●骨転移＝安静はもう古い！？ MRI画像スコアによる活動度の検討
●難解な脊柱・椎体の病変を見抜く！ 麻痺の出現やヘルニア所見の診かた　ほか



脳神経

●MRI／MRAの組み合わせで考える予後予測と離床のリスク
●大出血＝麻痺とは限らない！ CTで診る「運動」「姿勢」「高次脳機能」
●重要なのは機能局在？連絡線維？ シンプルに理解する神経回路ネットワーク
●脳血管攣縮を予測する経頭蓋ドップラー(TCD)の診るべき測定値　ほか

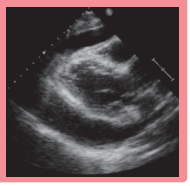


呼吸

●気管吸引したのに肺の音が良くならない？ 画像から呼吸ケアを考える
●起こす？起こさない？ 胸部レントゲン+CTで読み解く離床戦略　ほか

循環

●心臓が悪いと肺も悪くなる？エコーで判断する循環機能
●その胸の痛みはどこから？ 多様な画像からその原因を探る　ほか



PROGRAM 3 画像所見から考える離床の可否の見極めと予後予測 ～症例供覧～

講座の最後には、学んだ知識を症例供覧しながら整理します。ベテランが苦労した症例、画像所見がリスク管理上ポイントなった事例などを取り上げます。
●発症初期から脳画像所見を診ておけば良かったと反省した脳出血症例　～CT/MRIによる予後予測と離床時期判断の重要性～
●画像変化を見誤り、離床時に病的骨折を発症した骨転移症例　ほか

※この講座は離床アドバイザー習得コースの理論コース1単位を取得できます。

受講方法

① ホームページよりオンライン登録
② 添付の申し込み用紙に記入の上、FAXまたは郵送

申し込み用紙はホームページからもダウンロードできます　日本離床学会　検索

お問い合わせ・お申込先

臨床を元気に！ 日本離床学会
〒102-0073 東京都千代田区九段北1-2-12 プラーレルビル2F
ホームページ https://www.rishou.org/
TEL 03-3556-5585　FAX 03-6272-9683
Eメール jsea@rishou.org